

投稿・執筆規程

1. 本誌は国際エクササイズサイエンス学会の機関誌として、エクササイズサイエンス関連領域の研究開発の研究発表の場を提供することを主な目的とする。記事の種類は、「原著」「短報」「症例研究」「紹介」「総説」、その他を記載するものである。
 2. 投稿は本会会員（筆頭著者）に限る（会員でないものは入会が条件）。また、編集委員会の決定により会員外の著者に投稿を依頼することができる。
 3. 投稿原稿は、他誌に発表、または投稿中の原稿でないものに限る。
 4. 投稿の際には、学会ホームページ (<http://rehaac.org/professional.html/>) の「国際エクササイズサイエンス学会誌」のページから投稿承諾書をダウンロードし、論文と合わせて投稿すること。
 5. 原稿の採否、記事の種類、掲載順は編集委員会で決定する。査読の結果、編集方針に従って、加筆・削除および一部書き直しを依頼することがある。また、編集委員会の責任において、多少字句の訂正をすることがある。
 6. 研究は、原則として所属機関・施設等の倫理委員会の承認を得て行い、その旨を、承認番号とともに「対象」の項に記載すること。
 7. 利益相反の可能性（研究助成費用および企業からの援助）がある場合には、本文中の該当箇所に記載すること。
 8. 引用文献は必要最小限にとどめ、引用順に列記する。文献の省略は公の省略法（Index Medicus など）に従う。引用文献の著者氏名が4名以上の場合は最初の3名を書き、他は・他、または et al. とする。
 - ① 雑誌の場合：著者名、題名、雑誌名、発行年、巻、頁。
(例) 1) 大嶽昇弘, 林典雄, 山田みゆき・他：牽引装置の牽引力の再現性について。理学療法科学, 1998, 13 : 191-194.
2) Kobetic R, Triolo RL, Marsolais E, et al.: Muscle selection and walking performance of multichannel FES systems for ambulation in paraplegia. IEEE Trans Rehabil Eng, 1997, 5:23-29.
 - ② 単行本の場合：著者名、書名、出版者、発行地、発行年、頁。
(例) 1) 千野直一：臨床筋電図・電気診断学入門。医学書院, 東京, 1977, pp102-105.
2) Kapandji IA: The physiology of the joint. Churchill Livingstone, New York, 1982, p p165-180.
 - ③ 電子文献の場合：著者名、書名、入手先 URL、閲覧日。
(例) 1) 厚生労働省：介護給付費実態調査月報（平成19年1月審査分）。<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/kaigo/kyufu/2007/01.html>（閲覧日 2007年3月29日）。
9. 投稿原稿には、和英併記にて表題、著者名、所属（部、科等を含む）、住所、電話番号、メールアドレスを付記し、キーワード（3個以内）、300字程度（目的、対象、結果、結語にわけて文中に挿入する）の和文要旨と150ワード程度の英文要旨を添えること。
10. 著者校正は原則として1回とする。
11. 図表は Microsoft Excel 等の表制作アプリケーションで作成し、本文ファイル（Word）、図表ファイル（Excel）を併せて投稿すること。また図表の挿入希望箇所は本文の右欄外に明記すること。

投稿希望の方は、論文作成時のチェックポイントを確認してから、学会ホームページにある投稿フォーマットに記載し、投稿すること。投稿についての質問は、下記連絡先に問い合わせること。
12. 掲載料は20000円とする。ページ数、またはカラー印刷の有無によって異なるため編集委員へ事前に相談すること。
13. 本誌に掲載された論文の著作権は、国際エクササイズサイエンス学会に属する。
- 学会ホームページ
<http://rehaac.org/professional.html/>
- 問い合わせ先
投稿先（メール送付先）
国際エクササイズサイエンス学会誌編集部
: n-sano@ntu.ac.jp